

## 公益財団法人日本美術刀剣保存協会 平成29年度理事会議事録概要

新博物館の減価償却費が高額になるため、経常増減額は四、七〇〇万円余の損失となっております。

法人会計における収入予算は二、五七〇万円、経常費用予算は二、六五三万円余となりました。法人全体では四、七八五万円余の損失を見込む予算となりました。

第1号議案は異議なく可決された。

第2号議案 平成30年審査員の委嘱について

原案通り全員から承認されました

第3号議案 現代刀職展運営委員会委員の選任について

旧新作名刀展である「現代刀職展」作刀・刀身彫・彫金の部審査要領第2条

第3項で「運営委員は理事会で選任し、会長が委嘱する」と定められており、

名簿の通り承認されました。なお、本年度からは研磨コンクールと一本化し

て、同様に運営委員のご尽力をいただくこととなります。以上の説明があり、

第3号議案は可決されました。

第4号議案 基本財産の繰り入れについて

柴原専務理事より、このたび寄贈されたリストのうち3点、及び昨年竣工し

ました刀剣博物館の建物を基本財産に登録したいとの提案があり、承認され

ました。

第5号議案 就業規則の一部改正及び関連規程の制定について

柴原専務理事から就業規則のうち現法令にそぐわない部分の訂正や現法令で

必要な規則を追加しておりますが、この諸規程の改正及び関連規程の制定に

ついてご審議いただきたいとの提案があり、承認されました。

第6号議案 その他について

その他については酒井会長から、現在細川護熙、徳川恒孝両氏には名誉顧問

として委嘱しておりますが、現顧問の蟹江英吉氏、相沢英之氏、上杉光弘氏、

高村正彦氏4名についても名誉顧問としたい、との発言があり、承認されま

した。

8 報告事項

定款31条に基づく業務執行理事の報告が各々ありました。

また、柴原専務理事から新刀剣博物館の運営状況及び秋の全国大会の概要及

び協力の依頼がありました。

1 開催年月日 平成30年3月29日(木) 午後1時30分～3時

2 開催場所 当協会1階 講堂

3 出席理事数 現在数19名出席

4 出席監事数 現在数2名出席

5 議長の名 酒井忠久会長

6 議長(会長)が定足数を確認し、本会議の成立を宣言しました。

7 議案の審議と議決結果等

第1号議案 平成30年度事業計画及び予算(案)について

柴原専務理事から資料1に基づき、説明があった。

博物館事業については、4月の重要刀剣等新指定展にはじまり、平成31年1

月、特別展「筑前左文字の名刀」を開催いたします。

全国大会は、協会設立70周年及びたたら操業40周年を記念して11月24日・25

日の2日間、刀剣博物館及び第一ホテル両国を会場に開催いたします。

発表会事業は、二〇一八年度現代刀職展として、作刀・彫金・刀身彫りの部

(旧新作名刀展)と研磨・外装の部(旧刀剣研磨・外装技術発表会)で実施し、

致道博物館に加えて、富山県の森記念秋水美術館でも巡回展示いたします。

保存・特別保存審査は、本年度は昨今の審査申請件数の増加により、審査受

付から返却まで相当日数を要している現状及び厳正な審査の実施という点に

鑑みまして、刀剣は6月からの3か月毎に、刀装・刀装具は4月からの3か

月毎に受付をいたします。

また、2年毎に実施しております特別重要刀剣等審査は4月に、重要刀剣等

審査については10月に受付いたします。

予算については、公益目的事業会計における経常収益予算は四億一、四二五

万円余としました。受取寄付金は、現在募集中の特定寄付金(博物館建設事業)

の29年度中に御寄付いただき指定正味財産として保管している額と、30年中

の御寄付の合計になります。経常費用は四億六、一二七万円余としております。